



岡野 陽子 議員

### 新たなパンデミック等の危機管理と まちなか再生に向けた今後の取組について

**質問** 新型コロナウイルスワクチン接種を実施して学んだことを新たなパンデミックがあった場合に、どのように生かしていくのか。

**答弁** 平時より医師会等関係機関との連携を図るとともに、市職員全体で対応した経験を生かし迅速に対応していきたいと考えます。

**質問** 日本で承認された「レプリコンワクチン」は発がん性や、接種者から未接種者へのワクチン感染を指摘する専門家がいます。安全性の担保は。

**答弁** 今後、変異した新たな株に対応したワクチンの臨床試験が進み、今年の秋冬接種への実用化を目指す



篠木 正明 議員

### 学校給食を食べられない 子どもたちへの対応策について

**質問** 学校給食には、食事の提供だけでなく、食育の教材、学校生活を豊かにし、

しなればなりません。食物アレルギーへの対応の現状をお尋ねします。

明るい社交性や協同の精神を養うなどの役割があります。食物アレルギーや宗教上の理由で通常の学校給食を食べられない児童生徒にも食育や明るい社交性や協同の精神を養うことを保障

**答弁** 食物アレルギー対応食は、令和3年度から卵の除去食をスタートしました。令和6年度からは乳の除去食を追加する予定です。調理等を委託している事業者との契約では最大7品目の

とされています。今後も国からの情報を注視します。  
**質問** 緊急時に国が地方自治体に必要な指示を行える特例を盛り込んだ「地方自治法改正案」が閣議決定されたが、市長の見解は。  
**答弁** 国会の動向を注視し、今回の法改正により国のサポートを得ながら迅速に対応できるというメリットを生かし、市民の安全を確保していきたいと考えます。  
**要望** この改正案は、緊急事態に地方自治体が自ら動

けず、政府の指示待ちになる可能性や感染症危機におけるロックダウン、また、「レプリコンワクチン」の強制接種といった危険性ははらんでいることを多くの市民が知るべきであるし、市長には、自治体の首長として国と地方の対等な関係が損なわれることのないように強く要望します。  
**質問** 館林市まちなかにぎわい再生方針の策定経緯は。  
**答弁** 第6次総合計画、都市計画マスタープラン、立

地適正化計画のもと、館林駅を中心に、歩いて楽しめるにぎわいのあるまちを目指し再生方針を定めました。  
**質問** 中央通り線拡幅工事の今後の事業計画は。  
**答弁** 全体事業費は45億円で、今後も引き続き用地買収を行い、来年度より、用地買収完了区間において共同溝工事に入る予定です。  
**要望** 市民は期待する反面、財政的支出を不安視する声なども聞かれます。事業の可視化を要望します。  
**質問** 当事者が共同で対応することも考えられますが、問題は費用です。ハラル給食に対応した食材を使用すると給食費程度ではできません。不足分を市が補助する考えはありますか。  
**答弁** ハラル給食の提供は実現の可能性は低いというのが現状です。当事者が給食費相当の経費でハラル弁当を調達するのは難しいと思いますが、差額の補助は、今後の課題したいと思います。